礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　ルカ8:15 ‥‥‥‥‥‥ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 172番　雨をふりそそぎ
*交読文　‥‥‥‥‥‥‥‥ 51番
*使徒信条　‥‥‥‥‥‥‥ 会衆一同
*頌栄　‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 173番　燃ゆるみたまよ
礼拝のための祈り　‥‥‥ 成田エクレシア:河執事　天声:小林伝道師
賛美　‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 542番　主よ、わが見しゆめ
メッセージ　‥‥‥‥‥‥ 希望は、信仰を軸にして望み続ける事によって実る(ローマ8:18-25)
御言葉を適用する祈り　‥ 会衆一同
賛美　‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 409番　渇きあえぐわが魂は
幸せと成功の宣言文　‥‥ 会衆一同
献金感謝の祈り　‥‥‥‥ パスター
報告　‥‥‥‥‥‥‥‥‥ コーエン夏季講義が7/11からあります。詳しくはチラシをご覧下さい。
*主の祈り　‥‥‥‥‥‥‥ 会衆一同
*祝祷　‥‥‥‥‥‥‥‥‥ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5)
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ10:10)
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ10:10)
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

____は思う。今のこの時の苦しみは、やがて____に現されようとする栄光に比べると、言うに足りない。被造物は、実に、切なる思いで神の子____の出現を待ち望んでいる。なぜなら、被造物が虚無に服したのは、自分の意志によるのではなく、服従させたかたによるのであり、かつ、被造物自身にも、滅びのなわめから解放されて、神の子たちの栄光の自由に入る望みが残されているからである。実に、被造物全体が、今に至るまで、共にうめき共に産みの苦しみを続けていることを、____は知っている。
それだけではなく、御霊の最初の実を持っている____自身も、心の内でうめきながら、子たる身分を授けられること、すなわち、からだのあがなわれることを待ち望んでいる。
____は、この望みによって救われているのである。しかし、目に見える望みは望みではない。なぜなら、現に見ている事を、どうして、なお望む人があろうか。もし、____が見ないことを望むなら、____は忍耐して、それを待ち望むのである。(ローマ8:18-25)

メッセージ概要

キリスト者としてこの世を歩んでいく時、信仰者ゆえの艱難や苦しみは、確かにあるにしても、素晴らしい希望の約束もある。『*今の時のいろいろの苦しみは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足りないものと私は考えます。*』(ローマ8:18) しかしこの約束が、気休めのような、絵に描いた餅のような感じで、何も得られないまま、何年も過ごしてしまっているクリスチャンも多い。願い、祈っているのに、一向に状況が改善されない場合、どうしたら栄光や祝福が実体化されるのか。今回、学びたい。

ここの「苦しみ」は、神様の言葉から外れた自分の願望や欲望が叶わないゆえの苦しみではない。「苦しみ」と訳されたギリシヤ語「パテマ」は、聖書では特に、福音や神の国、イエス様ゆえに受ける苦しみを表す。
今、もし、御言葉を守ろうとしているゆえに、あるいは、主にある兄弟姉妹に愛を貫こうとしたゆえに、肉体的、精神的に、あるいは経済的に、痛み・苦しみを負っているとするなら、そのような人にこれから現されようとしている栄光は、そんな苦しみは比較の価値すら無い程の、素晴らしいものである、と書かれてある。
ただ、その約束が成就されるまでに必要なものがある。『*もしまだ見ていないものを「望んでいる(希望)」のなら、私たちは、「忍耐(ヒュポモネー)」をもって熱心に待ちます。*』(ローマ8:25) だから「熱心」に、「忍耐」をもって、希望を持ち続ける必要があるのだ。「主はこの御言葉の約束を下さった」「主は必ず、こうして下さる」「主は必ず、こうしてくださる！」、と、忍耐しつつ、いつも願い続けるなら、それは実るのだ。
『*信仰とは、望んでいる事がら(希望)を確信し、まだ見ていない事実を確認する事である。*』(ヘブル11:1) すなわち信仰とは、信仰者達から望まれている事がら(癒やし、必要の満たし、解放など)の、実体である。癒しや必要の満たし、解放など、私達が「なってほしい」と願っている事柄が実体化するのは、まさに「信仰によって」であり、裏を返すなら、信仰が無い人は、いくら願っても実体化を見る事はない。弾丸が入っていないなら引き金を引いても何も出て来ないのと同様、信仰が無い人は、どんなに願い望んでも、何も出て来ない。世の人は、見える証拠や実証をまず求めるが、真理は逆で、「信じるなら得る」という法則なのだ。

結局、**望んでいる事というのは、信仰を「軸」にして忍耐し、望み続ける人に、実らされる**ものであり、そして、**信仰を見事に実体化させるために、絶対に、絶対に必要なものが、「忍耐(ヒュポモネー)」**なのだ。
イエス様の「種まきのたとえ」で、唯一、30倍以上の実を結んだ「良い地」は、『*御言を聞いた後、これを正しい良い心でしっかりと守り、耐え忍んで(ヒュポモネー)実を結ぶに至る人たちの事である。*』(ルカ8:15)
このたとえ話の中の、4タイプの土地の内、実を結ばなかった、3タイプの土地は、せっかく御言葉を聞いたのに、心に根付く間もなくすぐにサタンに持ち去られてしまうような人(道端の土地)だったり、試練が起きるとすぐに身を引いてしまうような人(岩地)だったり、また、世の心づかいや、富や、快楽によってふさがれて、実が熟するまでにならないような人(いばらの地)だった(同11-14節)。しかし唯一、何倍にも実を結んだ人は、みことばを聞くと、それを**しっかりと、「守り」「よく耐える(ヒュポモネー)」**、そういう人だった。

忍耐と希望は、必ずセットである。ヘブライ思考的には、「希望」には、未来を目の前の今へと引っ張る力があるもの、としている。そして忍耐(ヒュポモネー)は、嫌々ながらの消極的なものでは無く、むしろ、希望をもって楽しみに待つような、積極的な色合いのある言葉である。種を蒔いたら「5年後には、もしかしたら実がなるかなあ？」ではない。5年後に実がなっていて、喜んで刈り入れをし、おいしいねと言いながら喜び合いつつ食べている姿を、未来から引っ張てきて、先取りして見ているから、喜び期待して待てるのだ。

今、私達は、イエス様が示して下さった、期待し望み続けるべきビジョンがある。万民の祈る家や、TIAコミュニティセンターが与えられる事を。私達はそれが実体化されるまで、「イエス様、この件について、私はあなたに望みをかけます！」「私はあなたに望みをかけます！」と意識し、望みをかけ続ける事が、実体を生み出す事へとつながるのだ。そうして行くと、その望んでいる事柄が与えられるべき、未来の自分へ、今の自分が当てはまって行くかのように、変えられていき、そして、その未来の中で働くにふさわしい自分が、今、整えられていくのだ。その未来の自分の姿を、ありありと見て、自分がその未来にはめ込められている姿を思い描きつつ、その実体を得ていく私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	礼拝 11:30
English Service	14:00

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会 19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールで
お届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：045-326-6211
Homepage：http://voice.of.christ.yokohama/
email：ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

YouTube